

# 地域の自然・文化・食を活かした 回遊・滞在型観光まちづくり

## ～安房エリアの地域資源を発掘し人の流れをつくる～

安房エリア(鴨川市・館山市・南房総市・鋸南町)の既存の観光資源から、地域住民、観光客双方が「共生」「充実感」「幸福」を体験できる機会となるよう、市町で連携した新しいテーマを検討し、周遊・滞在型観光の可能性を探ります。観光客の行動分析を人流データで把握し、地域住民との協働による観光商品開発へとつなげます。



第1回 13:30-17:00

2026/1/28(水)

第2回 14:00-17:00

2/4(水)



千葉県南総文化ホール 大会議室

千葉県館山市北条740-1



観光協会、行政、観光を中心とした事業者・団体に所属する方、千葉県にお住まいで観光振興にご興味のある方、各日30名程度

ご応募者多数の場合、抽選となります



現地での対面形式

<https://forms.gle/sQ9vR2ZVBkq95eGn8>1月16日までお申込を受け付けます  
パソコン持参推奨。なくても参加できます参加費  
無料

- 各プログラムの内容は、予告なく変更する可能性がございますのでご了承ください
- 事業の一環として、講義内容や受講の様子を動画収録・編集し、eラーニング講座化する場合がございます。予めご了承下さい

「地方創生力レッジ」事業は、地方創生の本格的な事業展開に必要な人材を育成・確保するため、実践的な知識をeラーニング講座で提供するほか必要に応じて実地研修も効果的に取り入れることで知識やスキルを習得できるようにする取組です。本事業は、内閣府の地方創生支援事業(補助事業)で、令和7年度は公益財団法人日本生産性本部を補助事業者として採択、実施しています



個人情報の取扱いについて

公益財団法人 日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、本プログラムにお申込みいただきますようお願い申しあげます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

1. 利用目的: ①地域の自然・文化・食を活かした回遊・滞在型観光まちづくりの実施に関わる資料等の作成・プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。②当本部が主催・実施する各種事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のための利用。③以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。2. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。3. 本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報をだけを委託します。(公財)日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。4. 本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、本部の広報宣伝活動に使用する場合があります。5. 個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止が可能です。以下までご連絡ください。【連絡先】地方創生力レッジ事務局(TEL:03-3511-4013)6. 個人情報保護管理者:(公財)日本生産性本部総務部長

地方創生力レッジ eラーニング講座の受講

No.201 :【冬のDigi田甲子園事例から紐解くデジタル利活用による地方創生 導入編(全分野)】

<https://chihousousei-college.jp/e-learning/basic/introduction/201.html>

地方創生ビデオライブラリーの受講

【観光データ分析と計画策定1~4】

<https://chihousousei-college.jp/talk/shimizu.html>

## 第1回

## 1月28日(水) 安房エリアの現在地と未来の可能性をデータから考える

各種データに触れることを通じて、観光による地域経済波及効果、地域の観光実態を理解するとともに、データによる可視化によって観光客の行動を把握、新しいスポット、地域魅力、滞在価値を発見します

全 相鎮

帝京平成大学 人文社会学部  
観光経営学科専任講師【専門分野】  
地域振興と観光、観光行動論

13:30 オリエンテーション

講義&amp;個人ワーク 安房エリアの資源、経済・産業、人口・人流等から地域の現状を探ります

15:15 グループワーク 発表 実際の人流データなどを見て、どういう人流を巻き起こしたいかを考えます

## 第2回

## 2月4日(水) 事例から得る未来へのヒント

観光まちづくりの先進地から実践者を招聘、事例発表やディスカッションを通じて、自地域の資源、地域連携等について課題、ヒントを見つけ再整理します。第1回での視点(データ活用)を活かしターゲットや季節、資源の組み合わせなどを考えつつ、今後の新しい滞在価値の創出に向けた参考とします

佐々木 梨花

Gensen&co  
代表取締役

佐藤 奏子

かまいしDMC  
地域創生事業部  
マネージャー

岩崎 比奈子

武藏野大学 グローバル学部  
日本語コミュニケーション学科 准教授  
【専門分野】  
温泉観光地、観光地経営、人材育成14:00 オリエンテーション データの再確認とワークショップのまとめ確認  
前回復習14:20 事例研究 観光まちづくりの先進事例紹介  
安房エリアの自然資源の活用、地域住民との連携、体験・空き家再生などのテーマと親和性が高く、安房エリアの特性に通じる事例案を紹介します  
1. 静岡県熱海の温泉街とまち歩きの取組(佐々木氏)  
2. 岩手県釜石の持続可能な観光と地域連携の取組(佐藤氏)  
3. 全国温泉地の取組(岩崎氏)

15:40 ディスカッション 先進事例実践者と地域実践者(高梨氏・児玉氏)

高梨 貴央

鴨川市観光協会  
理事/手焼きお  
かき高梨代表

児玉 秀一

館山市観光協会  
理事/コアコミュ  
ニケーション代表  
取締役